

高田 本山 だ よ り

みんなで守ろう文化財
規模を縮小しましたが、今年も文化財防火デーを
前にして、防火訓練がおこなわれました



125

高田本山の国宝は多くの人の手で守られています。

連載
第3回

『なもあみだぶつ』を聞く」ということ

栗原 廣海

一、本願のよび声

親鸞聖人は、たくさんのご著書をお書きになりましたが、そのなかに、何年にもわたって改訂を重ね、内容の充実を期された書物で、真宗が立

の書物があります。この書物の中で、親鸞聖人は中国の善導大師の「南無阿弥陀仏」に対する解釈をあげ、それに対して聖人自身の解釈を述べておられます。善導大師は、「南無」とは「帰命」のことであると言わ

よとの、いわば命令のよな喚び声である」と言われるのです。

前回は言いましたよう

に、普通の理解からすれば、「帰命」（＝「南無」）は、「私が」信じ、敬い、まかせせる心」ですから、「南無阿弥陀仏」は、「阿弥陀仏という仏さまを心から信じ、敬い、おまかせします」という私の意思表明の言葉だということになるのですが、そうではなく、阿弥陀さま

その尊い喚び声である仏の言葉を聞き、受け入れるとき、その言葉は私の意思にはたらいで、私の称える「なもあみだぶつ」「なまんだぶつ」になるのです。私のお念仏

が、仏さまの側から、「信じ、敬い、まかせよ」と喚びかけてくださっている、仏さまの言葉であると言われているのです。

「奉讃法会」のテーマである、「弥陀のよび声『なもあみだぶつ』を聞いてゆこう」ということは、このような仏さまのこの上ない尊い言葉を、日々の暮らしのなかで絶えることなく聞いてゆくということなのです。

は私が称えようとの意思をもって称えているのですが、なぜそのような意思をもつことになるのかといえば、それは仏さまの本願のおはたらきが喚び声となって私に届き、

二、私のお念仏

永田文昌堂

新刊
七高僧と親鸞
鎌田宗雲著
定価990円(税込)

親鸞教義は、インド・中国・日本の七人の教えを受け入れ思索を深めている。その独自の教えが、親鸞にどのように受け入れられたかを考察する。

京都市下京区花屋町通西洞院西入 ■TEL 075-371-6651 ■FAX 075-351-9031

〈聞法ノート〉
聖典のことば
藤枝宏壽著 一問いと学び一
定価3300円(税込)

「聖典の語句について教学上の疑問を追求しつつ、教法を味わったノートです。好学・篤信の方のご批判を仰ぎます。」(著者)

自分史、句集、歌集、写真集、画集、エッセイなど…
本にしませんか?

編集 おまかせください!
手書き 原稿OK!
予算に 応じたご提案
お見積り 無料!

「本を作ってみたい」というあなたの想いを、企画から制作・編集・校正、印刷、製本まで一貫して本づくりをサポートします。

印刷から情報価値創造企業へ
株式会社 **オリエンタル** tel.059-245-3111(代)

お気軽にお問い合わせください。

私の意思をそのように動かしたからなのですね。お念仏している姿は、その意味で、仏さまの本願を受け入れている姿であ

り、本願を受け入れているという事は、それは本願を「信ずる心」をいただいているということです。

三、言葉の仏さま

聖人は、『浄土和讃』「讃阿弥陀仏偈和讃」第二十九首に、

たとい大千世界に
みたらん火をもすぎゆきて
仏のみなをきくひとは
ながく不退にかなうなり

とうたわれています。「たとえこの世界全体を貪りや瞋りの猛火が包もうとも、その満ち満ちている火のなかをも突き進んで仏の御名である『なもあみだぶつ』を聞く人は、安らかな浄土に生まれる

ことが約束され、そこから決して退くことがない」と言われるのです。

「なもあみだぶつ」を聞き、そのおはたらきを身に受け入れる人は、今のこの生にあつては、そのお徳の力をいただいてまことの歩みをさせて

いただき、命を終えたあかまきには必ず浄土に生まれさせてください。即、仏にならせていただくことができるのですね。

「なもあみだぶつ」は、私たちに到底はかり知



先生栗原に於て研修補任職にて講義をする

ることができない力をもった、まさに不可思議な、言葉の仏さまなので

(高田派鑑学)

● 行事案内

三月十七日～二十三日

讚仏会

三月二十日～四月四日

写生大会

四月六日～十一日

千部法会

四月九日・十日

十万人講法会

四月十一日

戦没者追弔法会

五月六日～八日

堯禊上人御正當

五月二十一日

親鸞聖人降誕会

※三月 中学生教化合宿

中止いたします

※三月十五日 涅槃会

涅槃図の公開は

十三日から二十一日

※四月八日 釈迦三尊会

涅槃会・釈迦三尊会等

では、人数制限等が感

染症対策によりある場

合があります。



仏壇・墓石

ぬし与

ホーオーが目印!

ぬし与仏壇店

- 桑名本店
- 桑名メモリアルパーク
- 四日市店
- 桜台 見性寺墓苑
- 蟹江店

京仏壇京仏具・お仏具ご修復・ご本堂内装・お納骨壇

神仏につなぐものづくり

創業 安永4年(西暦1775年)



京 仏 具

小堀

<https://kobori.co.jp/>

本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面上る
TEL (075) 341-4121(代) FAX (075) 341-4128
☎(本店) 0120-27-9595 (受付時間 9:00~17:30)

東京店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房



「弥陀のよび声
『なもあみだぶつ』
を聞いてゆこう」

令和5年(2023)年5月21日(日)から5月28日(日)まで8日間

- 開山親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年奉讃法会
令和5年5月21日(日)～24日(水)
- 中興真慧上人500年忌奉讃法会
令和5年5月25日(木) 逮夜から27日(土)日中まで
- 聖徳太子1400年忌奉讃法会
令和5年5月28日(日)

新宝物館にあなのお名前を残しませんか？

特別法要事務局だより

令和五(二〇二三)年は、開山親鸞聖人の

ご誕生から八五〇年という特別な年となります。上記のとおり、特別法要を八日間にわたりお勤めいたします。また、特別法要の記念事業として、『新宝物館の建設』を行います。

この新宝物館は、開山親鸞聖人のみ教えや貴重な法宝物を、次世代の人々に伝えていくために行うものであります。大切に受け継がれてきた聖人直筆の史資料等は、未来に向けて確実に受け渡していく必要があります。檀信徒の皆様には、この趣旨をぜひともご理解いただき、切にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

『親鸞聖人のみ教えに出会う新宝物館』をテーマに建設を進めており、『文化財活用室』では、VRの活用等により、聖人のみ教えをわかりやすく解説するとともに、普段は、見ることのできない国宝『御影堂』『如来堂』の細部にわたりご覧いただき、「文字・ことば」の情報を超えて、宗教的体験をしていただくよう準備を進めております。

ご懇志のご芳名について

ご懇志を賜りました『すべての皆様のお名前』を芳名帳に墨書し、新宝物館に長く残します。また、『二万円以上のご懇志を賜りました皆様』につきましては、お名前を宝物館の出入り口の壁面のガラスに、シルクスクリーン印刷でお刻みさせていただくこととしております。このお名前につきましては、特別法要の前年令和四(二〇二二)年十二月末までにお知らせいただきますようお願いいたします。なお、新宝物館のイメージ図等につきましては、次号以降にご案内申し上げます。

このたびのお扱
いととして、オリジ
ナル線香「十八香」
と、旧宝物館の古
材を使用しました
「しおり」をご用意
しております。ご
愛用ください。



「高田の佛涅槃図」
ぶつねはんず
 釈尊シリーズ②②

遂に釈尊は最期の時を迎えられました。

釈尊がお亡くなりになられたことを「涅槃に入らる（＝全ての煩惱が消滅した状態）」と言います。

その模様は『涅槃經』という經典に記されていますが、それに基づいて描かれたのが佛涅槃図です。

高田本山にある佛涅槃図は、画の縦約五メートル五十、横が約四メートル、畳十八畳分という大きさで、表具を入れると高さ約六メートルを超えるため、如来堂の梁から吊るしてやっと全体を拝むことが出来るほど、全国的にも珍しい大きさです。これは、三月十五日、

釈尊の「涅槃会」に合わせて掛けられます。平成二十年の大修復を機に、絵解き解説も行われるようになりました。

この佛涅槃図は江戸時代後期に描かれたものと言われていますが、その作者ははっきりとはしていません。円山応挙

(一七三三～一七九五)の作品であるとも言われますが、応挙門下の長沢蘆雪(一七五四～一七九九)かその一派の作品ではないかと考えられています。

画の中央には、沙羅双樹の下、宝台に横たわり完全な涅槃に入られた釈尊が、頭を北にして、顔は西に向け、右脇

腹を下にした「頭北面西右脇」の姿勢をとられています。釈尊の周りには、沢山のお弟子さんや、菩薩さま、釈尊を敬う人々が集まって来います。他にも、獅子、水牛、象、犬、ネズミ、ネコ、ニワトリ、ひっくり返った馬、泣いている熊など、多くの動物たちが釈尊のもとで悲しみにくれています。高田の佛涅槃図で特徴的などころは、手前に池が描かれていることです。涅槃図に池を描いた例は他にありません。そこには水鳥が泳ぎ、鯉などの魚が描かれています。池の畔では、亀やカニ、ガチヨウ・アヒル・白鷺などが集まっています。池の上部には、バッタ・カマキリ・コオロギ・トンボ・蝶な

ども描かれており、あらゆる生き物が釈尊の死を悲しみ集まって来ています。全てのいのちがつながっていること、全てのいのちが尊いと観られた釈尊の世界がここに生き生きと描き出されているのです。

(教学院第三部会)

令和三年の涅槃図の公開は三月十三日から二十一日を予定しています。



創業1586年

松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘
 執行役員支店長 佐野祥治

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150
 名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771

こんな行事がありました

行事の多くは状況を踏まえて中止といたしました。また、法要は粛々と感染症対策をとりながら実施いたしました。

一月九日から十六日の

報恩講（お七夜）では、境内入り口で検温・消毒を実施、各行事では密をさける座席間隔をとって行いました。また、お経を唱える僧侶もマスク着用でした。

文化財防火デーの前日一月二十六日には**防火訓練**も行われ、特殊な消火設備の取扱方法に熱心に耳をかたむけていました。二月一日には昨年同様に代表者だけ出席いただいて**年賀式**が行われました。

年末の十二月二十四日には、本山だより123号表紙で紹介しました坊官屋敷の修復現場見学が開催されました。



専修寺 YouTube チャンネル

YouTubeチャンネルを開設いたしました。ホームページのリンクからご覧ください。

井 法衣・仏具製造及び販売 簡

井簡法衣店

〒600-8108
京都府下京区堀川通
新花園町角田町1-1
TEL 075-531-1234
FAX 075-531-7905

井簡法衣店

井 都

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）
電話 (075) 371-0854・8181～2番
FAX (075) 344-2701番
振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

親鸞聖人ご旧跡を訪ねて

第19回 越後より京都へ

前回は流罪赦免後、関東へ向かう聖人のご旧跡を案内いたしました。京都に赦免のお礼にお戻りになったともいわれています。

その時に京都山科に興隆正法寺を作られたそうです。

残念ながら現在ではその地にお寺はのこらず、市内中心部の仏光寺、興正寺となりました。高田派と同じく真仏上人を二世とする仏光寺派、興正派のご本山です。

また、実際にお寺があった場所は石碑のたつ場所よりも少し北側のエリアだったのでともいわれています。

ご旧跡の碑へは、京都地下鉄東野駅より徒歩8分ほどです。
(山川蓮生)



総合案内所について

- ・院号・法名などの申物や臨時読経の申し込み
- ・進納物（懇志・永代経）のお取り扱い
- ・参拝記念印のお取り扱い
- ・帰敬式受付
- ・仏事相談
- ・団体参拝のお申し込み
- ・各種販売物のお取り扱い
- ・納骨のお申し込み

■納骨受付は予約制となっております。また、受付件数を限定させていただきます。

■翌月末までの予約が可能です。ご予約はお電話にてお願いいたします。

■ご予約・お問い合わせ先

総合案内所・納骨堂

電話〇五九一三二一七三四



ひろびろ境内で
国宝を描こう

3/20~4/4
写生大会

参加対象 幼児~中学生
参加無料・当日受付
画用紙をお渡しします
画材は持参し宗務院受付へおいでください

高田本山御用達
三重県仏教会御推薦
石碑
記念碑
燈籠

高級御影石専門店
御影石材株

（石に御用の方法）
☎0120-142540

本店 津市北明町(御影寺門前)
☎059-284-1700(代)

日本古来より伝わる土壁の家づくりと伝統建築の保護・再生
土壁・漆喰・竈の伝統技術を守り継承していきます

層築舎
Sochikusha Co.,Ltd

〒510-0031 三重県四日市市浜一色町 16-35
TEL 059-332-1444 FAX 059-344-2627
E-mail : souchikusha@gmail.com URL : https://tutikabe.net/

生死しやうじの苦海くかいほとりなし

ひさしくしずめるわれらをは

弥陀みだの悲願ひがんのふねのみぞ

のせてかならずわたしける

皆様にとって馴染み深い一首かと思ひます。この「生死」とは流転るてん輪廻りんねを指します。今こうして「人」として命をいただいておりますが、これまで幾度も生死を繰り返し迷ひ苦しみ続けてきたのです。この「生死の苦海」を泳ぐこともままならず、もがき苦しみ沈みゆく者こそ、凡夫ぼんぷたる私の姿であるとお示しく下さいました。

そのことがコロナ禍において顕著けんちやくにうかがえます。感染者増加の一波を越えるたびに、何も解決されていないにもかかわらず、「自粛明け」という言葉が飛び交いました。その言葉に踊らさ

リレー法話 いのち

「生死の苦海」

大円寺住職
高島光憲

れ、元の生活を取り戻そうと、欲のままに手を伸ばす我が身がここにある。この先地獄と知りながら、目先の快楽追いかけては、自ら地獄へ飛び込んで、「二度と来るものか」と後悔する。七高僧のおひとり、善導ぜんどう大師だいしのお言葉に、「一たび泥犁ないり

に入りて長苦じやうくを受くるとき、はじめて人中にんちゆうの善知識ぜんちしきを憶おくす」と。現代語訳しますと、「地獄の苦しみを受けるそのときに、人に生まれながらも佛法にそむいた前世に後悔する。」と、仰っておられます。まさにこれが苦海を沈み続ける私の本性・本質でございます。

そんな私をみては、「苦しみつくりず生きられぬ、汝を救う佛となるぞ」と、「阿弥陀」と名のり出てください、私のもとへ「南無阿弥陀佛」のお念佛を与えてくださいました。お念佛に出遇わせたただかなければ、苦しみの中にいることすらも気づけぬままに、むなしく閉じるこの命でありました。

※疾病の拡散防止のお願い

参詣の際や、行事等にご参加いただく場合には、引き続き感染防止対策にご協力ください。また、状況により各種行事が中止または内容が変更される場合もございます。

寺院名

三重県津市一身田町
2819
真宗高田派本山専修寺



高田本山
Senjuji

ニュース情報番組 **Mieライズ**
毎週月～金曜日 17:40～生放送!

コメンテーターを交え、三重の今を深掘り! ニュース、スポーツ速報、旬な情報満載でお届けします。

- ・ **感動☆Mie** 各市町情報
- ・ **キチキチキッチン** 5分で簡単料理
- ・ **三重の工夫** 4Kで迫る匠の技 など

エムとくんのLINEスタンプがきたよ

LINEアプリ
⇒スタンプショップ
LINEストア
⇒クリエイターストア
どちらかで
🔍 三重テレビ放送



MTV 三重テレビ放送